

Q 原子力災害時、どんなときに避難したらいいの?



原子力発電所で事故が発生した場合、お住まいの場所や事故の状況に応じてとっていただく行動が異なります。

発電所に近いPAZ（おおむね5km圏）にお住まいの方には、放射性物質が放出される前の全面緊急事態において、全域に避難指示が出されます。

UPZ（おおむね5km～31km圏）にお住まいの方には、放射性物質の放出後に、空間放射線量を測定した値が基準値を超えた区域に対して、避難単位（UPZ内10市町を89区分）ごとに避難等の指示が出ます。詳しい情報については、県ホームページに掲載されている避難計画や静岡県原子力防災ポータルなどにより確認できます（図2）。

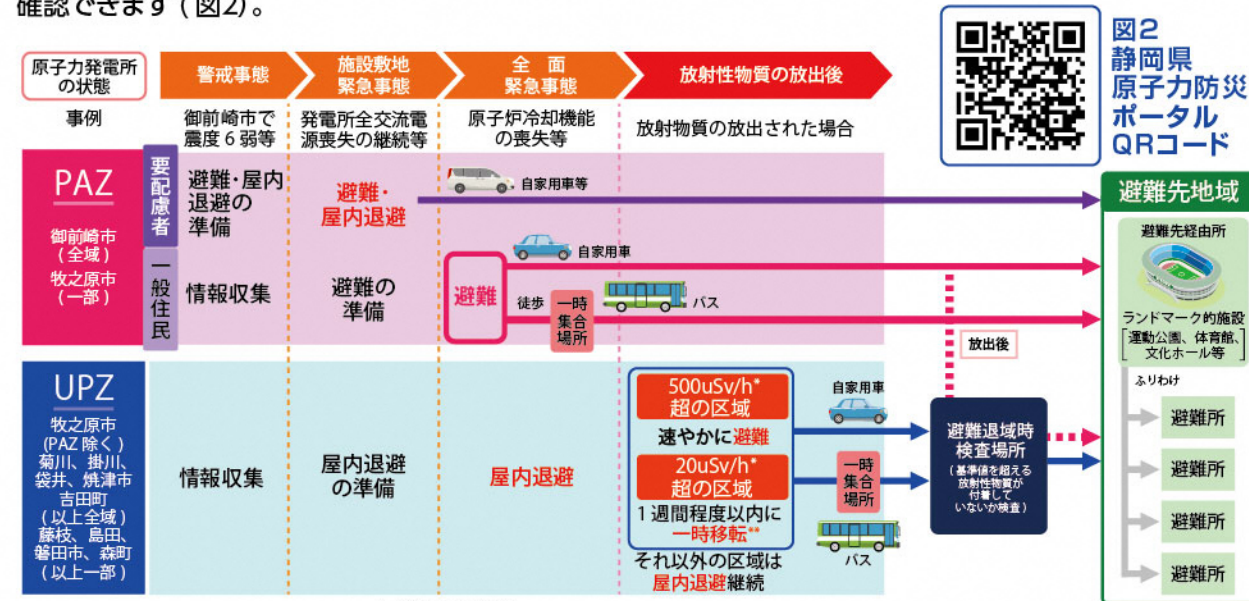


図1 避難の流れ

* 空間放射線量の値
** 一時移転：一定期間（一週間程度）のうちにその地域から離れること



図2 静岡県原子力防災ポータルQRコード

浜岡原子力発電所の運転状況

前ページまでの環境放射能の測定を行った期間中（令和2年10月～12月）、浜岡原子力発電所の1号機及び2号機は廃止措置中であり、3号機、4号機及び5号機は運転停止中でした。

なお、令和3年3月24日現在、3号機、4号機及び5号機については定期事業者検査及び地震・津波・重大事故対策等を実施しています。

「原子力だより」の内容についてご質問等がありましたら、下記までお寄せください。

静岡県原子力発電所環境安全協議会事務局
静岡県危機管理部原子力安全対策課

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL.054(221)2088 FAX.054(221)3685

E-mail antai@pref.shizuoka.lg.jp

ホームページアドレス：http://www.pref.shizuoka.jp/bousai/kakushitsu/antai.html

静岡県環境放射線監視センター

〒421-0411 牧之原市坂口3520-17 TEL.0548(29)1111 FAX.0548(29)0335

ホームページアドレス：http://www.hoshasen.pref.shizuoka.jp



オフサイトセンター合同対策会議(テレビ会議)



オフサイトセンター各機能班ごとの活動訓練
(住民安全班:住民避難の調整)

静岡県本部 情報受伝達訓練

県と関係11市町等は、2月4日に、浜岡原子力発電所における原子力災害を想定した原子力防災訓練を実施しました。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大のため参加人数を絞って、関係機関をTV会議システム等でつないだオフサイトセンター運営訓練や情報受伝達訓練を実施しました。

令和2年10月～12月の環境放射能の調査結果

静岡県原子力発電所環境安全協議会では、浜岡原子力発電所の周辺環境の安全を守るため行っている環境放射能調査の結果を、四半期ごとに取りまとめ、「原子力だより」でお知らせしています。

令和2年10月から12月の調査結果では、浜岡原子力発電所からの環境への影響は認められませんでした。

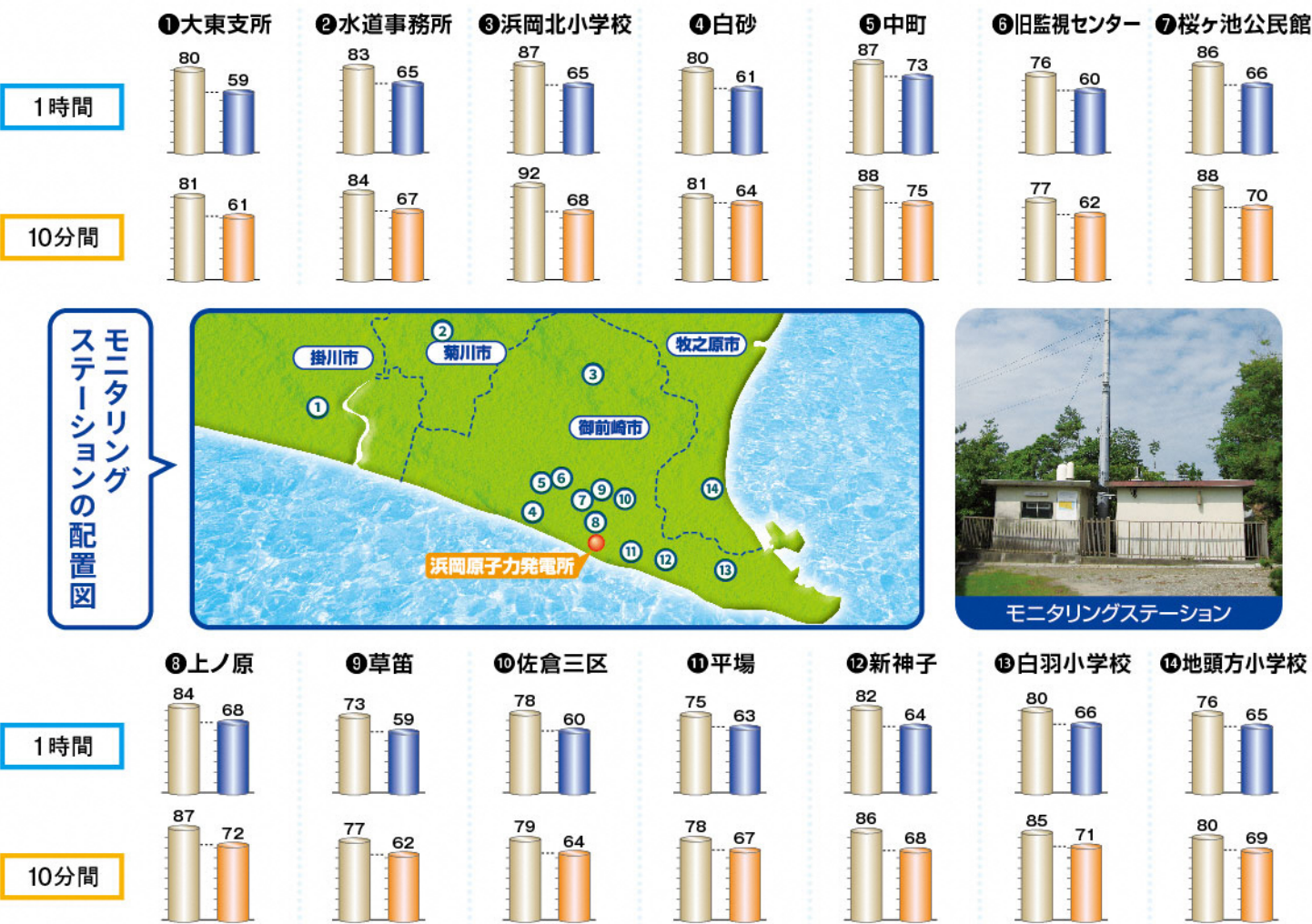
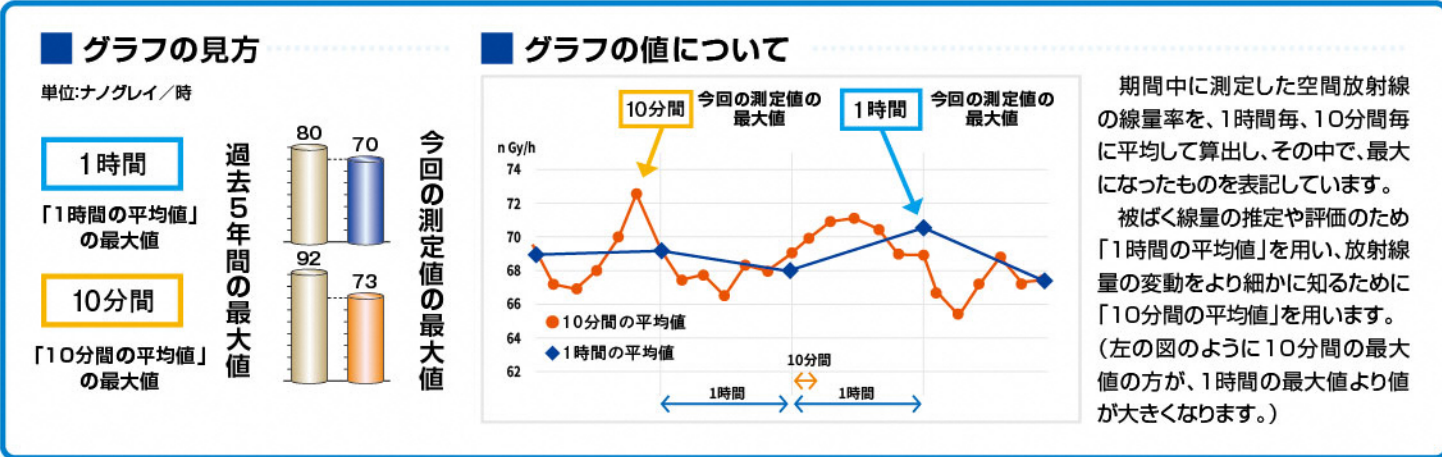
今回の調査結果では、東日本大震災に伴う東京電力 福島第一原子力発電所の事故による人工放射性物質の影響が見られましたが、健康への影響は心配ないレベルでした。

(詳細は次ページ)

令和2年10月～12月の 浜岡原子力発電所周辺の環境放射能調査結果

空間の放射線の測定（1時間平均値 および 10分間平均値の最大値）

モニタリングステーション（14か所）において、常時、空間放射線の量を測定しています。令和2年10月から12月の間の測定結果で過去5年の最大値を超えた地点はありませんでした。測定された値は、東電事故等の影響は認められず、自然放射線由来のものです。



測定結果から、自然放射線による外部被ばく線量は、年約0.29mSvと推定されます。（日本平均約0.33mSv、世界平均約0.48mSv※）
※新版 生活環境放射線（国民線量の算定）平成23年12月（原子力安全研究協会）から引用

農産物などの放射能の測定

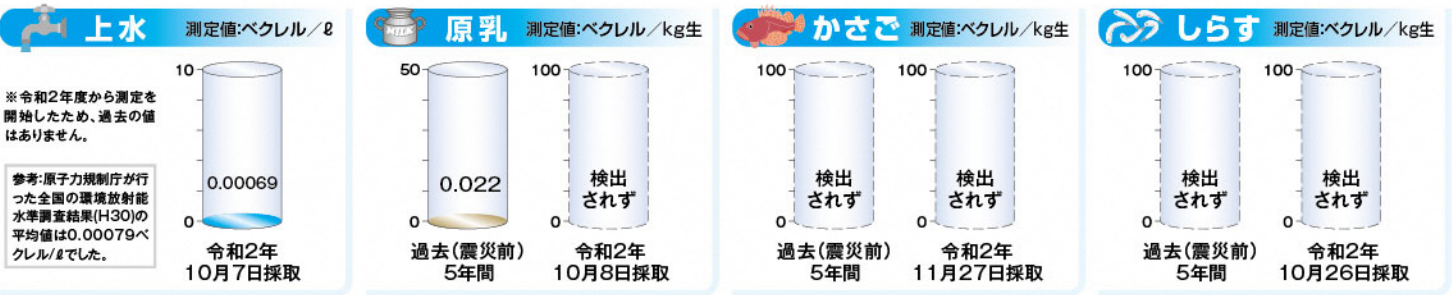
浮遊塵や農水産物などについて、放射能を測定しました。令和2年10月から12月の間に測定した試料の一部※は、過去（震災前）5年間の最大値を上回りましたが、いずれも国の基準等を大きく下回るものでした。検出された放射能は、過去の核爆発実験などの影響によるものや、東京電力 福島第一原子力発電所の影響によるものと推定しました。

※測定した13試料41検体のうち、3試料3検体（白菜1検体、原乳1検体、みかん1検体）

代表的な試料の放射性セシウム（Cs）の測定値の最大値



代表的な試料の放射性ストロンチウム（Sr）の測定値の最大値



放射能調査に用いる単位		参考	
■グレイ (Gy)	放射線のエネルギーが物質に吸収された量(吸収線量)の単位	ミリ(m)	1/1,000
■シーベルト (Sv)	吸収線量を基に人体への影響を考慮して算定した線量の単位	マイクロ(μ)	1/1,000,000
■ベクレル (Bq)	放射能の強さを表す単位	ナノ(n)	1/1,000,000,000
		千分の1	
		百万分の1	
		10億分の1	